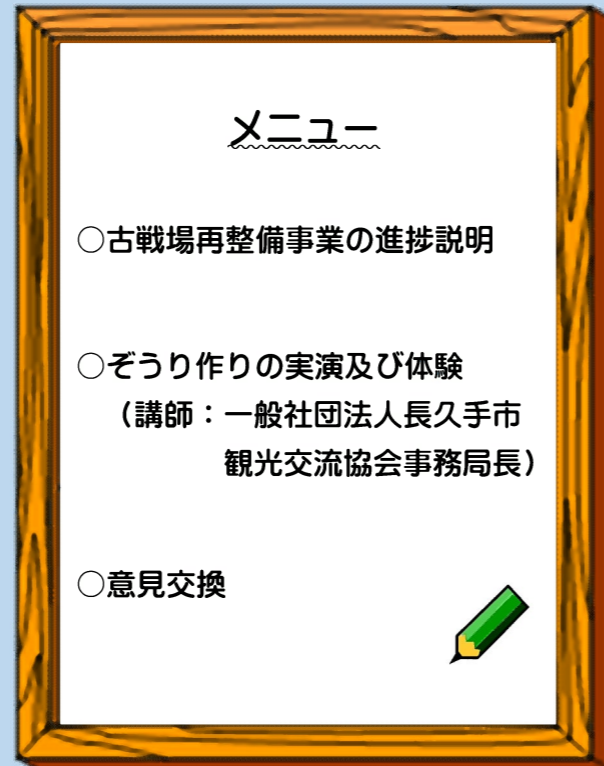


その十二 「古戦場公園みんなでやらんかい(会)」

古戦場公園再整備事業
市民ワークショップニュースレター

- ◆日時：令和4年10月22日【土】
- ◆場所：長久手市岩作石田地内古民家
- ◆参加者：20名
- ◆時間：午前10時から午前11時40分まで



古戦場再整備事業の進捗説明

令和4年度歴史民俗体験施設整備事業に係る予算(設計委託料)に対して市議会から意見が付されました。意見を受けて西側ゾーンに分散して整備する予定であった納屋、收藏庫及び体験施設の展示機能を1つに集約し、(仮称)歴史民俗資料館として整備し、古民家はその附帯施設とするように見直しをしました。

令和5年1月からの大河ドラマ「どうする家康」の放送を見て古戦場公園を訪れた観光客に、徳川家康ゆかりの地として、国指定史跡長久手古戦場をPRしたいと考え、築山造成工事を含む古戦場公園再整備工事のスケジュールを、令和7年度中のガイダンス施設のオープンに影響を与えない範囲で見直しました。



ぞうり作りの実演及び体験

歴史民俗体験施設で想定される体験活動の一つであるわらじ作りを一般社団法人長久手市観光交流協会の角谷事務局長をお招きして、お試して行いました。

参加者からは、「初めての体験でうまくいかなかったが楽しかった」など好評でした。

また、最後に角谷事務局長から、「わらじ」と「わらぞうり」の違いについての小話があり皆さん驚かされていました。

※かかとが靴のように走れるのが「わらじ」で、スリッパのようにペタペタなのが「ぞうり」とのことです。



わらを使って作ったわらじ(左側)と浴衣生地を使ったぞうり(右側)素材を変えるだけですきな履物が作れます。



古民家を警固祭りの馬宿にしたい。/日本の5節句(人日(1月7日)、上巳(3月3日)、端午(5月5日)、七夕(7月7日)、重陽(9月9日))にちなんでイベントをやるのはどうか。/維持管理にお金がかかると思うので、お金を稼ぐ仕組み作りがあるといい。/古民家で、ぞうり作り体験をして初めて実感できた。初めて会ったお隣さんと何気ない話をしながら、手作業ができるので、こういう場所があるとすごくいいんだと感じた。/長久手にもこういうしっかりとした古民家が残っているので、有効に使えたらいいなと思った。/初めて古民家に来たが、「百聞は一見にしかず」で来て見てよかった。/お団子を焼く姿を見たり、みんなで集まって手作業するのを実際に体験したりと、単純なことでも子どもが喜んだので新鮮でした。/年寄りばかりではいけない。若い人を巻き込むようにしないと、昔は良かったねという話で終わってしまう。/近くに大学がたくさんあるので、大学生にも入ってきてもらい、みんなが来れる施設になるといい。/古民家だからといって古いことをやる必要はない。/古戦場公園に古民家を整備するよりも、古戦場公園にある史跡などをしっかり整備してもらいたい。/古民家の経緯をもう少し詳しく聞けると思って参加したが、わらじ作りが主で残念だった。/一歩古民家に足を踏み入れた際に、すごく懐かしい気持ちになった。こういう建物が残るのは素晴らしいと思うので頑張ってほしい。

などなど、たくさんのご意見ありがとうございました。

意見交換の主なご意見



古民家について大学生の意見を聞いてみました

@12月20日 参加者24人

愛知工業大学（建築）、愛知県立大学（歴史）、愛知学院大学（まちづくり）、名古屋外国語大学（まちづくり）、の近隣4大学の学生に集ってもらい、それぞれの専門分野から、古民家の活用案について話し合ってもらいました。

まずは話し合う前に古民家について、文化財保護審議会会長の愛知工業大学杉野教授にレクチャーを頂き、実際に古民家を見学した後にグループごとに話し合ってもらいました。



杉野先生のお話



古民家見学



グループワークの様子

Aグループ 【駄菓子屋カフェ】

○土間の部分に駄菓子屋さんみたいにお菓子を置いて、カフェみたいに集まったりお茶できたらいいなあということになりました。

Bグループ 【宿泊施設】

○イベント時は催し物としてひなまつりのおこしものを提供したりする。
○ターゲットは主に外国の方
○実際に泊まってもらい、古い日本を体験してもらいたい。

Cグループ 【駄菓子屋と子どもが遊べる施設】

○リノベーションして駄菓子屋は今の古民家の雰囲気を活かす。
○周りの公園を使って子ども達が遊べる施設にしたい。

Dグループ 【宿泊施設、和カフェ、昔遊びができる場】

○外国の方の観光客向けで、和風な所で泊まれる古民家的な宿泊施設
○今人気の和カフェをつくる
○「長久手の昔ながらの生活体験」のできる施設
○公園の一角として開放され昔ながらの遊びができる場所として利用する

古民家について外国の方の意見を聞いてみました

@1月21日 参加者31人

古民家見学会と題して、普段日本語を勉強している外国人の方とボランティアの方に集まってもらいました。

古民家を実際に見てもらい、見た感想や古民家でやってみたいことを聴きました。



思い思いに見学されていました



入口の床にある焼き物に興味津々です



質問が止まりませんでした

古民家を見てみた主な感想ややってみたいこと

- 当時の日本人の暮らしを思い浮かべれた。
- ぜひ日本の建物を大事に守ってほしい。
- 置いてある物をただ見るのではなく、映像を使った解説やガイドがあるといい。
- 見るだけでなく実際に長久手の古い暮らしを体験できる仕組みがあるとよい。
- 古民家で泊まってみたい。
- 日本の寝室は家族一緒だけどヨーロッパでは別々の個人の部屋なので、違いがあって面白かった。
- 古民家メンテナンス体験ができると楽しそう。
- 子どもが遊べる広場があるとよい。
- 英語のガイドがあるとよい。
- 外国の方は体験が大好き。とにかく自分で何か体験できるとよい。体験があるとツアーリストが来てくれる。
- 自然の素材を使って建てられているのが一番興味深かった。
- 入口に陶器のタイル板があるが、初めて見たのでぜひ残してもらいたい。
- 屋外でも農作業体験できるといい、アジアの人は自国との違いを体験できると思う。
- お団子も食べるだけでなく、作る場所からの体験ができるといい。